

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年3月15日 (2012.3.15)

【公表番号】特表2011-510654(P2011-510654A)

【公表日】平成23年4月7日 (2011.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-014

【出願番号】特願2010-545017(P2010-545017)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 16/24 (2006.01)

C 4 0 B 40/10 (2006.01)

A 6 1 K 39/08 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 5/00 1 0 2

C 0 7 K 16/24

C 4 0 B 40/10

A 6 1 K 39/08

A 6 1 P 31/04

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月27日 (2012.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハイブリドーマの作成方法であって、C D 2 7 + B 細胞を、I L - 4、I L - 1 0 及び C D 4 0 L の存在下で一定期間にわたってイン・ビトロで培養し、該培養された C D 2 7 + B 細胞を融合パートナー細胞系と融合させ、それによりハイブリドーマを生成することを含む方法。

【請求項 2】

C D 2 7 + B 細胞培養中に、C D 4 0 L が、t C D 4 0 L 細胞の表面に提示された C D 4 0 L の形態で与えられる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

融合パートナー細胞系が、m I L - 6 及び h T E R T を異所的に発現する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 いずれか 1 項に記載の方法であって、ハイブリドーマのライブラリーを作成する該方法。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 3 いずれか 1 項に記載の方法により生成されたハイブリドーマ。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のハイブリドーマであって、A T C C 受託番号 P T A - 8 8 7 0 で寄託されたハイブリドーマ。

【請求項 7】

モノクローナル抗体を生成する方法であって、請求項 5 又は 6 に記載のハイブリドーマを培養して該モノクローナル抗体を生成することを含む方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の方法により生成された抗体、又は該抗体の抗原結合性断片。

【請求項 9】

A T C C 受託番号 P T A - 8 8 7 0 で入手可能な抗体、又は該抗体の抗原結合性断片。

【請求項 10】

A T C C 受託番号 P T A - 8 8 7 0 で寄託されたハイブリドーマにより産生される抗体が特異的に結合するエピトープに特異的に結合する抗体。

【請求項 11】

アミノ酸配列SEQ ID NO: 4 を含む抗体重鎖可変ドメインを含む抗体重鎖ポリペプチド；及びアミノ酸配列SEQ ID NO: 8 を含む抗体軽鎖可変ドメインを含む抗体軽鎖ポリペプチドを含む抗体；又は該抗体の抗原結合性断片。

【請求項 12】

アミノ酸配列SEQ ID NO: 2 を含む重鎖ポリペプチド、及びアミノ酸配列 6 を含む軽鎖ポリペプチドを含む、請求項 11 に記載の抗体；又は該抗体の抗原結合性断片。

【請求項 13】

請求項 11 又は 12 の何れかに記載の抗体断片であって、一本鎖 F v (s c F v) 断片、F a b 断片、(F a b ')₂ 断片又は (s c F v ')₂ 断片である抗体断片。

【請求項 14】

単離された核酸分子であって、該核酸分子が請求項 11 又は 12 に記載の抗体をコードする核酸分子。

【請求項 15】

B o N T / A を中和する必要がある患者において B o N T / A を中和する方法であって、該患者に、治療上有効な量の請求項 9 ~ 13 の何れかに記載の抗体又は抗原結合性断片を投与することを含む方法。